

The EBARA

報告書 | 2017年4月1日 — 2017年12月31日

巻頭
特集

ナノテクノロジーを支える
精密・電子事業を知る

Looking ahead, going beyond expectations
Ahead  *Beyond*

The EBARA

報告書 | 2017年4月1日 — 2017年12月31日

目次

- 01 イントロダクション
- 03 巻頭特集
「ナノテクノロジーを支える 精密・電子事業を知る」



- 05 トップメッセージ



- 07 セグメント情報



- 09 海外展開

- 10 トピックス



- 11 ステークホルダーとの関わり

- 13 財務情報

- 14 企業情報

詳しい業績情報は
当社WEBサイトへ



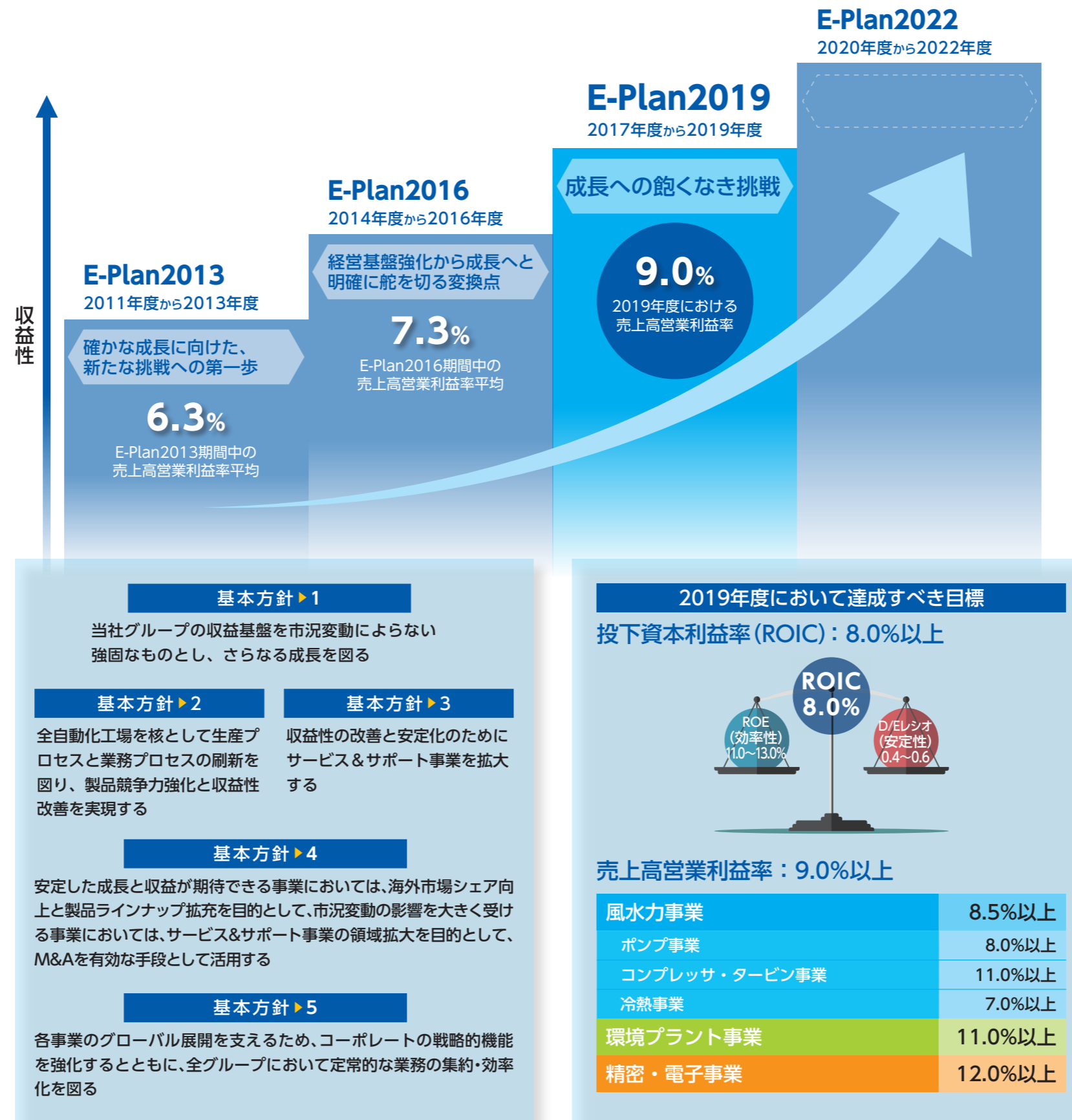
<https://www.ebara.co.jp/about/ir/index.html>

中期経営計画 [E-Plan2019] 成長への

世界規模で事業展開し成長する産業機械メーカーへとさらなる全事業の収益性を徹底的に改善することを目標とし、「成長へ

飽くなき挑戦

発展を目指すために、「成長への飽くなき挑戦」を実行していきます。



創業の精神「熱と誠」



与えられた仕事をただこなすのではなく、自ら創意工夫する熱意で取り組み、誠心誠意これをやり遂げる心をもって仕事をする。そして、何事も熱意と誠心をもって人に接すれば、相手に通じないことはない。

企業理念

水と空気と環境の分野で、優れた技術と最良のサービスを提供することにより、広く社会に貢献する。

ブランドステートメント

Looking ahead,
going beyond expectations

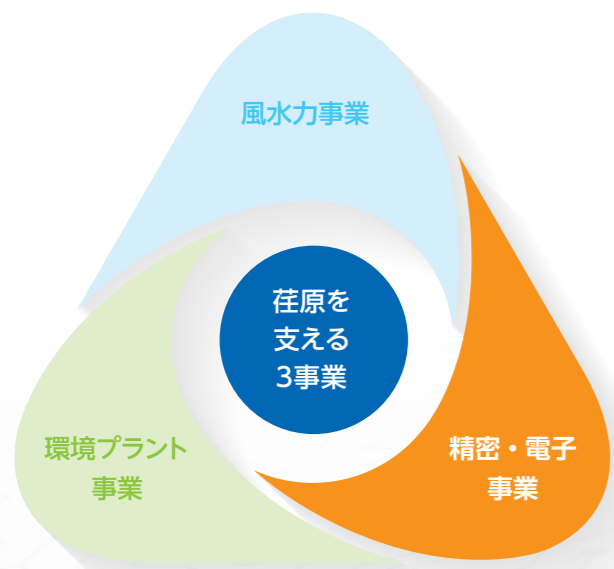
Ahead ▶ Beyond

業界を牽引するリーディングカンパニーとして、期待や想像を超える製品やソリューションをご提供していきます。また、「Ahead, Beyond」には、決して現状に満足することなく、常にさらなる高みを目指し挑戦し続ける当社の企業精神も込められています。

精密・電子事業を知る

事業発足から今年で34年目となる精密・電子事業。100年の歴史を持つ荏原の中ではそのルーツを探っていきたいと思ひます。

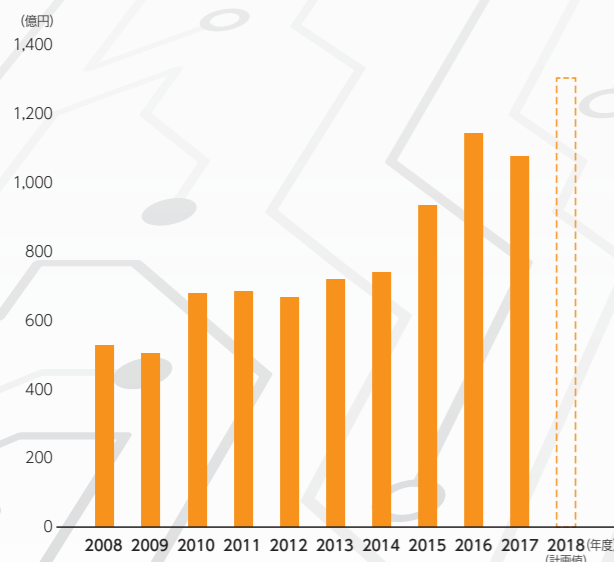
まだまだ若い事業ですが、“ポンプのエバラ”からなぜ精密・電子事業が生まれたのでしょうか？



強み

CMP装置の累計出荷台数 2,000台以上	世界のサポートショップ及びオーバーホール工場 50カ所以上
平坦度・研磨量のコントロール ナノ単位 (1mmの100万分の1)	CMP装置,ドライ真空ポンプ世界シェア 2位

売上高推移(10年ハイライト)



※2017年度は決算期変更により、2017年4月から2017年12月までの9か月間となります。

Since 1985 半導体業界への挑戦の歴史

1. 半導体業界が直面した課題

1985年、半導体デバイスの高性能化と小配線はますます微細化し、多層配線へのニーズ	型化に伴い、回路の高まっていた。
真空ポンプへのニーズ	半導体チップに微細な加工をするために、製造装置内をクリーンな真空状態にしたい
CMP装置へのニーズ	微細化・多層化のニーズに伴って、より高い平坦度を実現できる装置が欲しい
	研磨かすや砥液が出るため別室に置いている研磨機と洗浄機にしたい

2. 経営の多角化を模索していた 荏原

一方、荏原では多角経営を進めるため、荏原の技術DNAを応用できる新たな業界への挑戦を模索していました。

風水力事業の技術DNA	回転機械 材料 振動	冷熱 流体解析 騒音 構造解析
環境プラント事業の技術DNA	水処理 環境解析	ごみ処理 排ガス処理

3. それまでの常識を覆す製品の誕生

激動の1980年代、「技術と市場の同時開発」の末に、風水力事業を父、環境プラント事業を母として、ふたつの事業の技術DNAを受け継いだ半導体製造技術が当社に誕生し、同時に新たな市場も生まれたのです。

ドライ真空ポンプ 1986年 1号機出荷

排気するガス流路のシールに油又は液体を使用しない容積移送式真空ポンプ。吸排気配管やポンプ設置エリアから油などの液体を完全に排除し、クリーンな真空を得ることができます。

近年は半導体産業以外に、分析機器、医療機器、自動車産業、金属冶金産業などの一般産業分野にも活躍の場を広げています。

CMP装置 1992年 1号機出荷

研磨機と洗浄機を一体化し、ウェーハをセットすれば平坦化、洗浄、乾燥までの一連の工程を装置内で行うため(ドライイン/ドライアウト)研磨かすや砥液を散らかさず、クリーンルーム内に置くことができます。

これまで20社ほどがCMP装置の製造へ参入し、荏原は高い競争力をもってこれに勝ち残り、現在は荏原を含め、2社の状態となっています。

Message from Management

トップメッセージ

世界規模で事業展開し成長する産業機械メーカーを目指し、「成長への飽くなき挑戦」を実行していきます。

代表執行役社長 **前田 東一**



当社は、事業のグローバル化が進展する中、業績等経営情報の開示のさらなる適時・適正化を図るため、当連結会計年度より当社及び従来3月決算であった連結子会社の決算日を3月31日から12月31日に変更し、当社と連結子会社の決算日を12月31日に統一しました。この変更に伴い、当連結会計年度においては、当社及び3月決算であった連結子会社は4月1日から12月31日までの9か月間、12月決算である連結子会社は1月1日から12月31日までの12か月間をそれぞれ連結対象期間としています。

以下、増減については「前年度同一期間」との比較で記載しています。（前年度同一期間とは、3月決算であった会社は2016年4月1日から12月31日までを指し、12月決算会社である会社は2016年1月1日から12月31日までを指します。）

第153期の業績について

第153期の事業環境は、好調が持続する米国に加えて、アジアでも景気が回復しつつあります。日本国内でも公共投資が堅調に推移し、民間設備投資も持ち直しており、全体として市況は緩やかに回復しました。

このような事業環境のもと、当社グループの受注高は、風水力事業と精密・電子事業の増加により、全体としては前年度同一期間を上回りました。売上高、営業利益

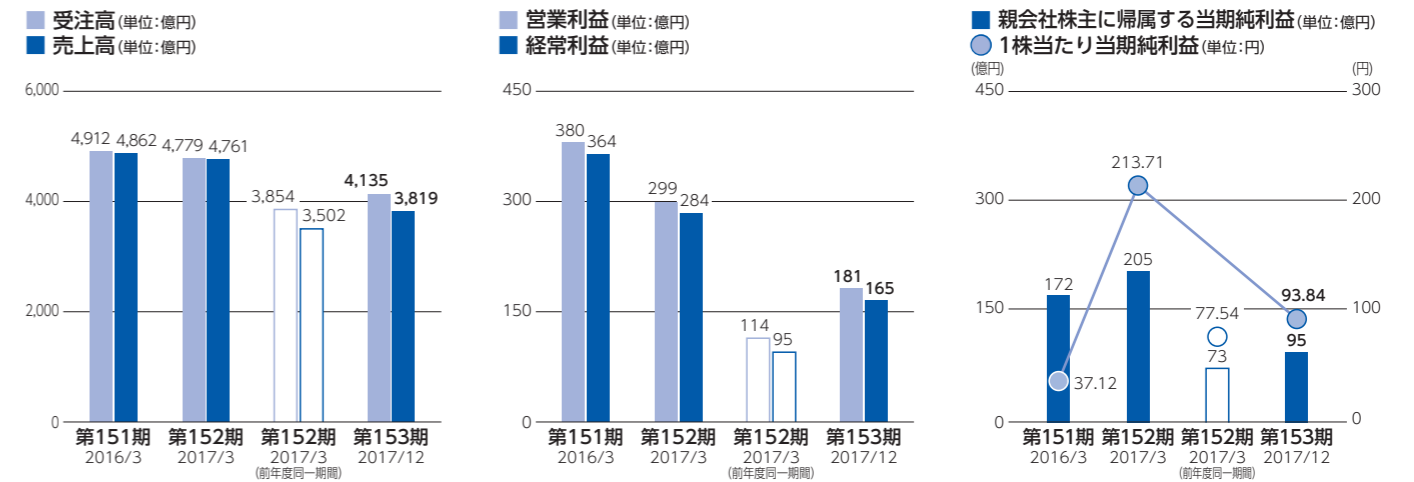
は、精密・電子事業の増加により前年度同一期間を上回りました。

この結果、第153期の売上高は3,819億93百万円（前年度同一期間比9.1%増）、営業利益は181億15百万円（前年度同一期間比58.0%増）、経常利益は165億29百万円（前年度同一期間比73.8%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は95億31百万円（前年度同一期間比29.9%増）となりました。

（注）第153期より、従来「エンジニアリング事業」としていた報告セグメントの名称を「環境プラント事業」に変更しています。当該変更は名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。

連結業績ハイライト

受注高	4,135億円	前年度同一期間比	7.3%	▲
売上高	3,819億円	前年度同一期間比	9.1%	▲
営業利益	181億円	前年度同一期間比	58.0%	▲
経常利益	165億円	前年度同一期間比	73.8%	▲
親会社株主に帰属する当期純利益	95億円	前年度同一期間比	29.9%	▲
1株当たり当期純利益	93.84円	前年度同一期間比	—	▲
1株当たり年間配当金	45円	—	—	—
内訳 中間配当金：30円 期末配当金：15円				



中期経営計画「E-Plan2019」の進捗状況について

E-Plan2019の1年目の進捗状況ですが、グループ全体の重要経営指標であるROICは2.5%、売上高営業利益率は4.7%という結果になりました。計画時点から想定していたとおり、9か月決算の影響により利益水準が一時的に低下し、ROIC、売上高営業利益率とも前年度実績を下回っていますが、ほぼ計画どおりの進捗となりました。

特に事業別の売上高営業利益率においては、旺盛な半導体業界の設備投資を背景に精密・電子事業は好調でしたが、風水力事業では石油・ガス市場が引き続き低調なことから営業利益が当初計画を下回りました。

E-Plan2019の2年目以降の取組は、重要経営指標である「ROIC:8%以上」の目標達成のため、①売上高営業利益率改善に向けた追加施策の実施、②資本効率改善の強化を進めます。具体的には、既に計画している施策の着実な実施に加えて、収益改善の遅れている事業にお

いては生産体制の再構築などの収益を押し上げるための追加施策を行い、営業利益率改善に努めます。また、資本効率改善の強化のために、①運転資本の回転率向上、②適切なバランスシート管理に取り組みます。

株主還元について

当社は、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針の一つとして位置付けており、連結総還元性向30%以上を目標に当該期の業績に連動して実施する方針としています。

この方針に基づき、第153期の期末配当につきましては、連結総還元性向は40%を超えるものの9か月決算となる過渡期のため、1株につき15円とさせていただきます。この結果、中間配当金30円と合わせ、第153期の年間配当金は1株につき45円となりました。

※ 2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しました。1株当たり当期純利益は、第152期の期首に株式併合が行われたと仮定して表示しています。



風水力事業

売上高 2,257億円
前年度同一期間比 5.6%増

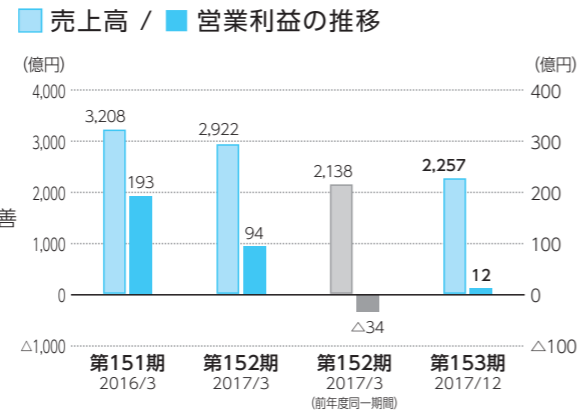
営業利益 12億円
前年度同一期間比 46億円の改善

主要製品

ポンプ、コンプレッサ、タービン、冷熱機械、送風機

POINT

- ポンプ事業は国内において建築設備向けや公共向けの受注が堅調に推移。
- コンプレッサ・タービン事業はアジアや中東の石油化学・石油精製プラント向けなどの案件を受注。
- 冷熱事業は国内の受注は堅調に推移し、中国の受注は前年同一期間並みに推移。



● ベトナムの浄水場に高効率省エネ型ポンプを納入

風水力事業では、ベトナムに所在のグループ会社(Ebara Vietnam Pump Company Limited)が、ベトナム・ダナン市水道公社の浄水場に、高効率省エネ型ポンプ9台を納入しました。

本案件は、浄水場内の既設ポンプを更新する事業で、日本の環境省が実施する「平成29年度二国間クレジット制度資金支援事業のうち設備補助事業」に認定されています。本ポンプの納入により、従来比で年間約200万kWhの電力消費量削減が見込まれ(CO₂に換算すると1,145tに相当)、二国間クレジットの適用により日本の温室効果ガス排出量削減に貢献できます。

今後も国連が提唱する「持続可能な開発目標(SDGs:Sustainable Development Goals)」の達成に寄与すべく、温室効果ガス削減など地球環境保全に貢献する製品・サービスを提供してまいります。



浄水場に納入した高効率省エネ型ポンプ



環境プラント事業

売上高 476億円
前年度同一期間比 4.2%増

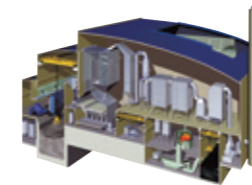
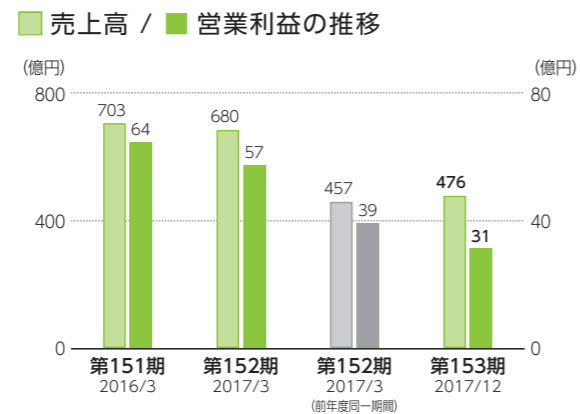
営業利益 31億円
前年度同一期間比 20.4%減

主要製品

都市ごみ焼却プラント、産業廃棄物焼却プラント、バイオマス発電プラント

POINT

- 公共向け廃棄物処理施設の建設工事(EPC)や既存設備の運転及び維持管理(O&M)の発注が、例年どおり推移。
- 民間企業でのバイオマス等を用いた発電施設の建設需要も継続。
- 施設の建設から長期的な運営までを含めたDBO方式による案件及び長期包括案件の受注が堅調に推移。



● ごみ焼却施設でグッドデザイン賞を受賞

環境プラント事業は、2017年4月より運営を開始した武蔵野クリーンセンターにおいて、同年10月に武蔵野市、水谷俊博建築設計事務所、鹿島建設株式会社と共同で、グッドデザイン賞2017を受賞しました。

武蔵野クリーンセンターは、低炭素社会を実現するための拠点として、地域に開放し、周辺のまちづくりへと展開していくことを目指したごみ焼却施設です。いつでも自由に見学できる見学コースや環境イベントを行うためのオープンスペースを設けるなど、今までにないごみ焼却施設を実現し、市民がごみの問題に向き合える施設となっています。このようなコンセプトが評価され、今回の受賞に至りました。

今後も廃棄物処理施設の建設・運営維持管理を通じて、地域の皆様に親しまれる施設づくりを行ってまいります。



精密・電子事業

売上高 1,073億円
前年度同一期間比 20.0%増

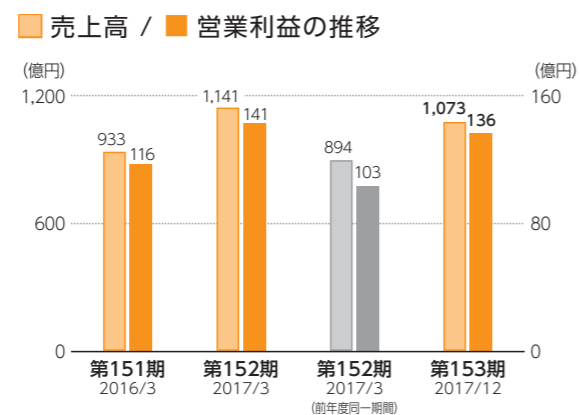
営業利益 136億円
前年度同一期間比 31.9%増

主要製品

真空ポンプ、CMP装置、めっき装置、排ガス処理装置

POINT

- 半導体関連の設備投資が依然として好調に推移。
- メモリ向け、ロジック向けともに受注が好調で、特にアジアにおいて受注が伸長。



● ドライ真空ポンプ 出荷累計15万台達成

精密・電子事業では、2017年11月に、主力製品であるドライ真空ポンプの藤沢・台湾・韓国3工場における累計出荷台数が15万台を突破しました。1986年に初号機をお客様へ納入して以来、半導体及びディスプレイ製造設備向けを中心にドライ真空ポンプを販売しています。近年は、環境負荷低減や生産設備のクリーン化などの観点から、計測・分析機器や自動車産業など、幅広い産業でドライ真空ポンプが用いられています。

ドライ真空ポンプの生産は、主力工場である藤沢工場を中心に、台湾・韓国工場の3拠点で行っており、お客様のさらなる需要に応えるため、生産能力の増強を進めています。

今後も成長する市場に対して、お客様の使用環境に合致したドライ真空ポンプを、安定した品質、納期でご提供できるよう注力してまいります。



ドライ真空ポンプ EV-L100N型

地域・社会とのコミュニケーション

タイのタマサート大学で「畠山清二記念荏原基金」セミナーを開催しました！

「畠山清二記念荏原基金」は、2017年11月27日、タイのタマサート大学でポンプの技術セミナーを開催しました。

タマサート大学は、タイでは2番目に創立された名門大学で17学部からなる総合大学です。

今年で4回目となりましたが、エンジニアリング学部で機械工学を学んでいる4年生の学生や大学講師など、約100名が受講されました。ポンプの基礎知識などを中心に給水ポンプユニットの特徴や制御システムなどについても講義を行いました。

また、本年度は、タマサート大学にポンプ教材として給水ポンプユニット×1台、カットモデル×2台、流量計×1台などを寄贈し、セミナー後に贈呈式を行いました。

荏原基金のこのような教育支援活動が、アジア各国の学生の学力、技術力向上に貢献しています。



寄贈したポンプを囲む受講生

畠山記念館のご案内

荏原の創業者である、畠山一清(号・即翁)愛蔵の美術品を受け継いだ畠山記念館は、1964年に開館以来、茶の湯の美術館として親しまれています。収蔵品は、国宝6件、重要文化財33件を含む約1,300件です。春は苑内の樹齢100年を越す枝垂桜が花盛りを迎え、秋から冬にかけては紅葉が見頃となり、展示室からお楽しみいただけます。春夏秋冬、季節の移り変わりごとに年4回、作品を取り合わせて展覧会を開催していますので、当館所蔵の名品をぜひお楽しみください。荏原グループは畠山記念館を後援しています。

2017年度は以下の展覧会を開催し、大勢の方にお運びいただきました。

春季展 4月～6月「茶の湯の名品-破格の美・即翁の眼」

夏季展 8月～9月「茶の湯ことはじめⅡ」

秋季展 10月～12月「新収蔵記念 近代数奇者の交遊録-益田鈍翁・横井夜雨・畠山即翁」

冬季展 1月～3月「茶懐石のうつわ 併設 季節の書画」

詳しくは、当記念館のホームページをご参照ください。



阿蘭陀藍の葉水指 17世紀
(2017年度 夏季展に出品しました)



重文 柿の蒂茶碗 銘 毘沙門堂
朝鮮時代
(2017年度 秋季展に出品しました)

従来、報告書に掲載しておりましたご招待券は2017年12月発行の報告書よりチケット形式に変更しました。
2018年度の展覧会ご招待券を同封しておりますのでご確認ください。

畠山記念館

〒108-0071 東京都港区白金台2-20-12

TEL 03-3447-5787

<http://www.ebara.co.jp/csr/hatakeyama/>

(休館日)月曜日(祝日のときは翌火曜日)・展示替期間

荏原SSCプレーヤー 世界で活躍中！

1983年に設立された株式会社荏原湘南スポーツセンター(以下:荏原SSC)は、テニス及びフィットネスクラブを通じて、地域の住民の健康を増進しています。荏原SSCでは、テニスプレーヤー会員・テニスジュニアアカデミー会員のふたつの会員システムを総合的に実践して選手の育成につとめ、現在、2020年東京オリンピック強化選手 高橋悠介選手、徳田廉大選手が荏原SSCプレーヤーとして所属し、活躍しています。

荏原SSCプレーヤー所属選手の戦績

高橋 悠介 選手

楽天ジャパンオープンATP500

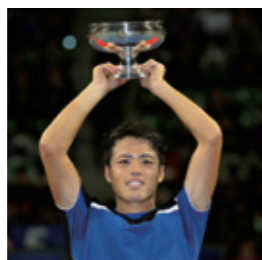
・男子シングルス本戦出場

ITF男子テニス・フューチャーズ大会/
ジャパンF1、F4、F6フューチャーズ
(3大会)

・男子シングルス 優勝(3大会)

三菱 全日本テニス選手権92nd

・男子シングルス 優勝



徳田 廉大 選手

ITF男子テニス・フューチャーズ大会/
インドネシアF7フューチャーズ

・男子シングルス優勝

・男子ダブルス準優勝

(徳田 廉大選手・今井 慎太郎選手)

ITF男子テニス・フューチャーズ大会/
タイF11フューチャーズ

・男子シングルス優勝



荏原湘南スポーツセンター ホームページ <http://www.ebarassc.co.jp/>

投資家とのコミュニケーション

大好評！ 個人株主様向け見学会を実施しました

株主の皆様へ当社の事業について一層のご理解をいただくことを目的に、事業所見学会を開催いたしました。今後も見学会の開催を予定しています。本誌の裏表紙にご案内を掲載していますので、是非ご応募ください！

第1回 富津事業所見学会 (風水力事業)

開催日 2017年10月12日(木)

開催場所 当社 富津事業所

参加者数 約40名(株主様及び同伴者様)



富津事業所



大きなポンプに感嘆の声があげられました

<参加者様のご感想>

- ・ものづくりの現場を見ることができて貴重な体験となりました。(80代 男性)
- ・一般に見えない場所に設置されているポンプ、私たちの生活を支えていることが感じられました。(70代 女性)

次回見学会のお申し込みは裏表紙へ！

個人投資家向け会社説明会を実施しました

2017年12月に、野村證券(株)にて個人投資家を対象とした会社説明会を2回開催しました。

当日は当社株式を投資対象としていただくことを目的とし、事業概要や業績、中期経営計画E-Plan2019の内容などについて説明を行いました。

説明後の質疑応答では、3事業(風水力、環境プラント、精密・電子)の関連性、ガバナンス体制に関する考え方、過去の売上推移など、事業に関する具体的な質問が多数ありました。

今後も積極的に説明会を開催する予定です。

第2回 藤沢事業所見学会 (精密・電子事業)

開催日 2017年12月13日(水)

開催場所 当社 藤沢事業所

参加者数 約40名(株主様及び同伴者様)



藤沢事業所 本館



ふだん見ることのできないクリーンルームもご見学いただきました

- ・精密電子事業と聞いてあまりピンときていませんでしたが、半導体製造関連装置について大変興味深く大いに期待できると思いました。(70代 女性)
- ・荏原の事業として、エネルギー、社会インフラなど大規模のものと思っていたが、超精密分野にも強いことを認識しました。(70代 男性)

開催日 2017年12月15日(金)、18日(月)

開催場所 野村證券(株)横浜支店、藤沢支店

参加者数 約90名(横浜支店)、約30名(藤沢支店)

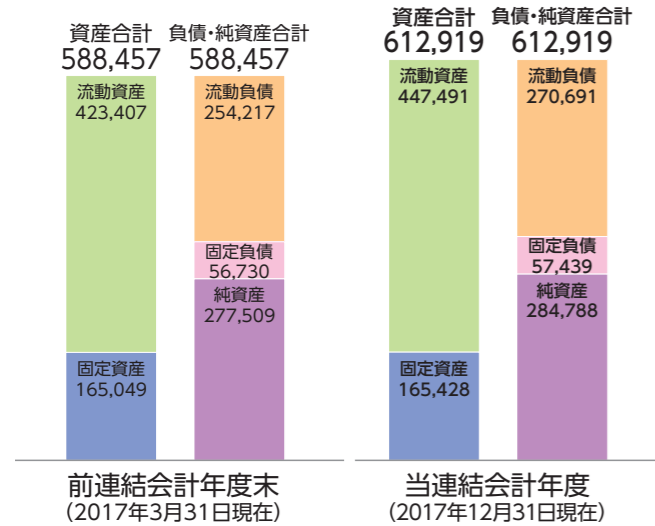


Financial Information

財務情報 (2017年12月31日現在)

連結貸借対照表の概要

(単位:百万円)



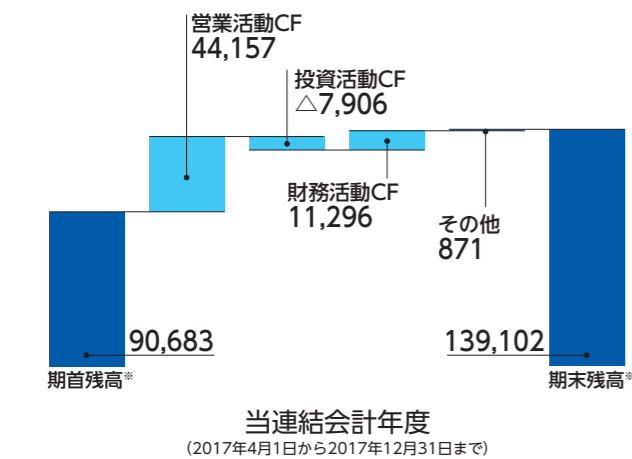
連結損益計算書(要約)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 2016年4月1日から 2017年3月31日まで	当連結会計年度 2017年4月1日から 2017年12月31日まで
売上高	476,104	381,993
売上原価	350,032	285,261
売上総利益	126,072	96,732
販売費及び一般管理費	96,076	78,616
営業利益	29,995	18,115
営業外収益	2,082	937
営業外費用	3,613	2,523
経常利益	28,464	16,529
特別利益	2,677	3,561
特別損失	645	1,537
税金等調整前当期純利益	30,497	18,554
法人税、住民税及び事業税	5,546	6,324
法人税等調整額	3,299	1,908
当期純利益	21,651	10,322
非支配株主に帰属する 当期純利益	1,063	790
親会社株主に帰属する 当期純利益	20,587	9,531

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位:百万円)



※「期首残高」及び「期末残高」は現金及び現金同等物の残高

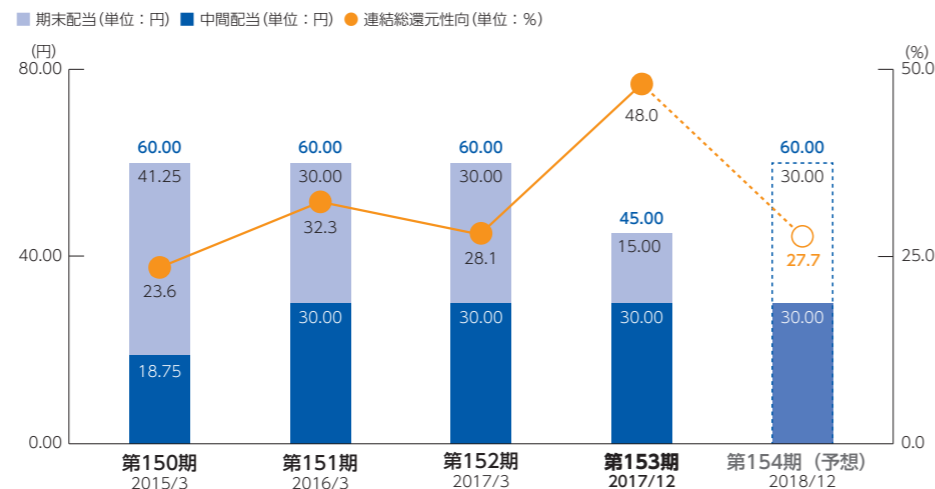
株主還元

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を最も重要な経営方針として位置付けており、連結総還元性向30%以上を目標に当該期の業績に連動して実施する方針です。

第153期は9か月決算となる過渡期のため連結総還元性向は40%を超えています。

※ 当社は、2016年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施しました。右記のグラフでは、第150期の期首に株式併合が行われたと仮定して表示しています。

● 1株当たり配当金/連結総還元性向の推移



Corporate Information

企業情報 (2017年12月31日現在)

会社概要

商号 株式会社荏原製作所
本社所在地 〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)
創業 1912年(大正元年)11月

資本金 788億円
従業員数 3,898名(連結16,219名)
関係会社 子会社89社(うち連結子会社57社)
関連会社8社

役員 (2018年3月28日現在)

取締役

取締役会長 矢後 夏之助 社外取締役 大枝 宏之
取締役 前田 東一* 社外取締役 橋本 正博
社外取締役 宇田 左近 取締役 藤本 哲司
社外取締役 国谷 史朗 取締役 大井 敦夫*
社外取締役 佐藤 泉 取締役 津村 修介
社外取締役 澤部 肇 取締役 野路 伸治*
社外取締役 山崎 彰三 *は執行役兼務

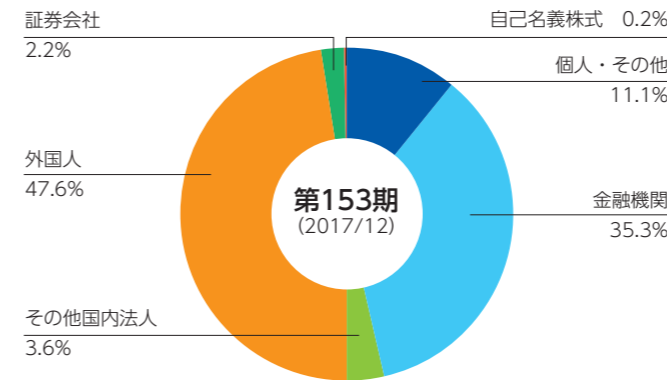
執行役

代表執行役社長 前田 東一 執行役 長峰 明彦
執行役専務 辻村 学 執行役 宮下 俊彦
執行役専務 大井 敦夫 執行役 勝岡 誠司
執行役専務 野路 伸治 執行役 喜田 明裕
執行役常務 木村 憲雄 執行役 沖山 喜明
執行役常務 浅見 正男 執行役 永田 修
執行役 中山 亨

株式の状況

発行可能株式総数 200,000,000株
発行済株式の総数 101,783,253株
株主数 21,421名

所有者株式分布状況



大株主(上位10社)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,563	8.4
いちごトラスト・ピーティーイー・リミテッド	7,170	7.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,056	6.9
THE BANK OF NEW YORK 133522	2,888	2.8
全国共済農業協同組合連合会	2,054	2.0
株式会社みずほ銀行	2,000	2.0
STATE STREET BANK CLIENT OMNIBUS OM04	1,759	1.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口7)	1,635	1.6
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	1,566	1.5
株式会社三菱東京UFJ銀行	1,425	1.4

(注)持株比率は、自己株式(189,124株)を控除して計算しています。

株式事務

事業年度 毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会 毎年3月に開催
基準日 12月31日
その他必要あるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日 12月31日
中間配当を実施するときの株主確定日は6月30日
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
三井住友信託銀行株式会社

郵便物送付先 〒168-0063
東京都杉並区和泉二丁目8番4号
三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) ☎ 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。

公告方法 電子公告 <http://www.ebara.co.jp>

ただし電子公告による公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

証券コード 6361

単元株式数 100株

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部

第154期 個人株主様向け 見学会・会社説明会 のご案内

株主の皆様にご理解を一層深めていただけるよう、個人株主様向けの「見学会」及び「会社説明会」を開催いたします。この機会にぜひご応募ください。



袖ヶ浦事業所でのタービン組立風景



Aコース

武蔵野グリーンセンター 見学会 (環境プラント事業)

日時	2018年 9月7日 14:00~16:00(予定)
集合・解散	武蔵野グリーンセンター2階
募集人数	30名(同伴者含む)

見どころ

昨年グッドデザイン賞を受賞した、当社が建設から運営管理までを請け負っている環境に配慮したごみ処理施設を見学いただけます。

Bコース

袖ヶ浦事業所 見学会 (風水力事業)

日時	2018年 10月22日 13:00~17:00(予定)
集合・解散	荏原製作所 本社(羽田)
募集人数	50名(同伴者含む)

見どころ

世界各地のエネルギー関連プラントで活躍するコンプレッサ・タービンの製造現場を個人株主様向けに初公開いたします。

個人株主様 限定

Cコース

会社説明会 (大阪支社 開催)

日時	2018年 6月12日 14:00~16:00(予定)
集合・解散	荏原製作所 大阪支社
募集人数	40名(個人株主様のみ)

内容

株主総会にご出席いただけない個人株主様に当社をより深くご理解いただくためのイベントです。

対象者 2017年12月31日現在、当社株式を100株以上保有の株主の方(ただし、見学会は小学生以上の同伴者1名まで可)

参加費 無料(ただし集合・解散場所までの往復交通費は各自の負担とさせていただきます。)

応募方法

郵便はがき又は当社WEBサイトのいずれかにてご応募ください。

応募締切

4月27日(金)

※はがきの場合は当日消印有効



郵便はがき

郵便はがきに右記の必要事項を記入のうえ、ご応募ください。

●はがき記入要領●

62円 切手	〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11-1 株式会社荏原製作所 経営IR課 SR担当 個人株主様向け 見学会・会社説明会係	株主様
		①郵便番号 ②ご住所 ③お名前(ふりがな) ④年齢 ⑤電話番号 ⑥株主番号 ⑦参加希望コース(A,B,C) ご同伴者様 ※見学会のみ ①お名前(ふりがな) ②年齢 ③株主様とのご関係

- ご応募多数の場合は抽選となります。厳正な抽選のうえ、当選発表及び見学会の詳細はご当選者への発送をもって代えさせていただきます。
- 複数枚でのご応募はご遠慮願います。
- 見学中の写真撮影及び録音はご遠慮ください。
- 階段の昇り降りなどがございますので、あらかじめご了承ください。
- 荒天等、諸般の事情により内容が変更又は中止となる場合がございます。その場合はご当選された株主様にご連絡させていただきます。
- 当社が見学会で撮影した写真はホームページや株主様向け報告書、社内報などに掲載・使用させていただきますのでご了承ください。

個人情報の取扱いについて

今回ご応募いただきました株主様及びご同伴者様の個人情報は、本見学会の実施以外の目的では一切使用いたしません。



WEBサイト

下記URL又はQRコードからご応募ください。

[https://www.ebara.co.jp/
contact/ir_kengaku/index.html](https://www.ebara.co.jp/contact/ir_kengaku/index.html)



お問合せ先

株式会社荏原製作所 経営IR課 SR担当

TEL: 03-3743-6111(ダイヤルイン代表)

9:00~17:00(土・日、祝日、その他会社の休業日を除く)



株式会社 荏原製作所

発行：ガバナンス推進部 経営IR課
〒144-8510 東京都大田区羽田旭町11番1号
電話 (03) 3743-6111 (ダイヤルイン代表)

